

北極圏高地にある氷の避難所 は、これまで想定されていた よりも脆弱であると科学者た ちは述べる



カナダの北極海群島の最北端やグリーンランドの海岸沿いでは、狭い間隔で並ぶ島や岬の間にある狭い北極海の水路に、厚くて耐久性のある海氷がしばしば存在する。科学者たちはこれまで、他の地域で海氷が減少しても、この地域では将来にわたって海氷が存在し続け、ホッキョクグマなどの氷に依存する動物たちの避難場所になると考えていた。しかし、新しい研究では、この氷の避難場所がこれまで想定されていたほど安全ではないことがわかった。

記事参照：A high Arctic ice refuge is more vulnerable than previously assumed, scientists say - ArcticToday (2021.7.2/ARCTIC TODAY)

→Polar bears in Svalbard could face extinction, a polar bear expert warns. (Thomas Nilsen / The Independent Barents Observer)

スバルバル諸島とロシア北極圏で絶滅危機に直面するホッキョクグマ



50年後には、スバルバル諸島のような極北の群島にホッキョクグマがいなくなっているかもしれない、と国際的なホッキョクグマ団体のリーダーが語っている。国際自然保護連合（IUCN）の種の保存委員会のホッキョクグマ専門家グループの議長を退任するダグ・フォングラヴェン氏によると、気候変動は最終的にスバルバル諸島とロシア北極圏の主要地域のホッキョクグマの個体群を絶滅させるという。

記事参照：Polar bears face extinction in Svalbard and Arctic Russia - ArcticToday (2021.7.7/ARCTIC TODAY)



Chena Hot Springs付近の山火事が9,000エーカーに拡大



フェアバンクスのに位置するチェナホットスプリングスの近くで発生した山火事は、木曜日の夜までに約9,000エーカーに拡大した。アラスカ州森林局のティム・モーリー報道官によると、高温で乾燥した天候のため、マンソン・クリークでの火災はこの2日間で急激に拡大したという。

記事参照：Wildfire near Chena Hot Springs grows to 9,000 acres - Alaska Public Media (2021.7.2/Alaska Public Media)

グリーンランド・イヌイット北極経済評議会への加盟を機に鉱山開発推進に期待



グリーンランドのイヌイットを代表するグループが、母体となる組織とは別に北極経済評議会に参加した。グリーンランドは、放射性鉱物の採掘に対する政治的な反対が、他の鉱山開発の妨げになるという懸念に対処しようとしている。グリーンランドは、水産業を補完する輸出处として、鉱業の発展を目指している。

記事参照：Greenland's Inuit to use membership of Arctic commerce group to push pro-mining message - ArcticToday (2021.7.7/ARCTIC TODAY)

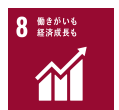
北方領土に"LNG初導入"…発電・暖房に活用 利便性高め実効支配強める狙いか 2年後に択捉・国後島へ



ロシアが2023年10月から12月に、北方領土の択捉島で、LNG液化天然ガスの受け入れ基地を稼働させる方針を明らかにした。LNGの北方領土への導入は初めて。

記事参照：北方領土に"LNG初導入"…発電・暖房に活用 利便性高め実効支配強める狙いか 2年後に択捉・国後島へ（北海道ニュースUHB） - Yahoo!ニュース（2021.7.8/Yahoo!ニュース）

他に類のないシーズンの幕開け、アラスカに2019年以来の大型クルーズ船が入港



2019年以降にアラスカを訪れる初めての大型クルーズ船が、金曜日の朝にアラスカ南東部の港に到着する。「大型船が戻ってくるとことは、ケチカンの経済にとって、いや、南東部全体にとって、本当に重要なこと」と、ケチカンの商工会議所責任者であるミシェル・オブライエン氏は語った。

記事参照：Kicking off a season like no other, Alaska's first big cruise ship since 2019 is on the way - Alaska Public Media (2021.7.8/Alaska Public Media)

フィンランド、記録的な猛暑に見舞われる



フィンランド気象研究所によると、月曜日にフィンランド北部の測候所がラップランドで史上2番目に高い摂氏33.5度を記録し、ヘルシンキでは6月の平均気温が1844年の記録開始以来最も高くなった。同研究所の異常気象研究者であるミカ・ランタネン氏は、バルト三国やロシアのサンクトペテルブルク地域にも広がっている現象について、「これは、長くて弾力性のある高気圧が行き詰まった結果だ」とロイターに語った。

記事参照：Finland on course for record hot summer as heatwave stifles Nordic region - ArcticToday (2021.7.9/ARCTIC TODAY)



↑A thermometer reads 27 degrees Celsius at the main square of the Santa Claus Village in the Arctic Circle near Rovaniemi in Lapland, Finland July 9, 2021. (Ryan Oliveira / Reuters)

ヨーロッパの北極圏で外来種のカラフトマスが急増し、在来種のアトランティックサーモンが減少



ノルウェーのソル・ヴァランゲル市の漁業狩猟協会は先週、地元のいくつかの川での釣りを中止した。これは、外来種であるカラフトマスが急増しているにもかかわらず、アトランティックサーモンの数が過去最低を記録しているため。

記事参照：Invasive pink salmon are surging in the European Arctic, even as native Atlantic salmon decline - ArcticToday (2021.7.12/ARCTIC TODAY)

グリーンランドでCOVIDが4例発生し、デルタ型の流行が懸念される



グリーンランドの公衆衛生当局は、週末に新たに4例の感染者が報告されたことを受けて、国内線5便と国際線1便の搭乗者にCOVID-19の検査を受けるよう呼びかけている。この呼びかけは、この病気の原因となるウイルスのうち、非常に感染力の高いデルタ型の亜種の発生可能性を阻止しようとするもの。

記事参照：Four COVID cases in Greenland spur concerns of a Delta-variant outbreak - ArcticToday (2021.7.12/ARCTIC TODAY)

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標（SDGs）』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。今回のVol.6は、2021年7月のニュースを主に掲載しています。

